

第 4 回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会 意見と対応

【意見概要】

(1) 第 3 回宮津市都市計画マスタープラン策定委員会の意見と対応について

- ・特になし。

(2) 全体構想、都市整備方針について

<ゾーン設定>

- ・市街地、文珠、府中にも沿岸はあるので、沿岸ゾーンとしての位置づけも必要ではないか。
- ・具体的には、須津と文珠の間の国定公園のゾーン。現状は荒廃しているが、これらを良くすることは、観光面、環境面どちらでも影響があり、良くしていこうという位置づけを示すことが必要。
- ・市街地と文珠の間の資材置場等低未利用地もある。
- ・ゾーン設定について柔軟に考えたほうが良いと思う。重複してもいいので、特色を示してほしい。
- ・将来に向けて、価値を高めていきたい、そういう位置づけを行うのが良いかなと思う。

(候補) 「観光沿岸ゾーン」「海洋資源活用ゾーン」など

<将来都市構成の設定(特色のあるキャッチフレーズ)>

- ・前は「観光・交流都市」ということで、テーマがはっきりと分かりやすかった。
- ・「持続可能で豊かなまちづくり」というのは幅が広すぎて、分かり難いのではないかなと思う。もう少し考えてもいいのでは。
- ・これまでの委員会での議論を考えると、「宮津の風土を活かして」とか、「歴史文化を活かして」とかそういう議論であったので、そのあたりを使うことも考えられる。
- ・総合計画は、総花的なものなので仕方がなかったとは思いますが、宮津らしさという特徴は欲しい。
- ・宮津は天橋立をはじめ自然に恵まれている。市民が行動していくことが大事。意見や言葉だけでなく、行動が大事。
- ・これまでの意見を参考に「共に創る 人が創る 自然が創る 豊かなみやづ」。
- ・一言でわかる「スローガン」的なものが良いと思う。
- ・特色が大事。宮津ならではの特色が生かされるまちづくりが大事と思う。特色は、環境であり、人であり、それらが輝くことだと思う。ただ、最近は宮津ではそういうのが弱いと思う。
- ・与謝野町なんかはそういったことがはっきり出ていると思う。ポップとか。ポップを使ったクラフトビールで、2、3件起業している。20代後半など若かった。

(候補) 「人」「自然」「歴史」「活力ある～」

×「持続可能」のように抽象的なものは避けたい

【対応】

⇒ 第 4 回策定委員会の意見を参考に再整理。

⇒ 総合計画の将来像の考え方を使っているが、総合計画とは異なり、「都市計画」に特化した基本的な方針であるため、これまでの議論を踏まえた特徴にしたい。
(これまでの意見) 宮津らしい風土、人、自然、歴史

【意見概要】

<土地利用方針>

- ・住宅地、商業地、工業地としておきながら、住宅地以外の方針が弱い。
- ・これまでの意見で、工業地の話も出ていたし、何かしら方向性を示してほしい。
- ・例えば、海があるので、海産物系の工場を誘致し、観光にもつなげられないかとか、特徴のある方向性が示されればと思う。他にはできない宮津ならではの企業誘致をイメージしてほしい。

<海の魅力>

- ・海沿いには建築需要はある。一方で、現状として荒廃している土地や低未利用地もあり、魅力が弱まっており、すごくもったいない。
- ・文珠から島崎公園あたりの市街地までの部分には、魅力があり、今後活用を考えていくべきだと思う。
- ・海のない土地の人間からすると、海は非常に大きな魅力。
- ・せっかく海洋高校があるので、日本全体の利になるような、海洋大学のようなものを設置してはどうかと思う。日本海の中に無尽蔵にあるメタンハイドレートの活用の研究をするなど。そうすれば、企業も若い人間も来るのではないかと思う。文化的な部分もいいが、こうしたエネルギーの部分を抑え込んで、宮津からそれらを発信していけるようにできればすごいことだと思う。これからの日本を考えていける話をしても良いのではないかと思う。
- ・海洋高校を「海洋資源活用拠点」と位置付けても良いのではと感じる。

【対応】

⇒ これまでの意見も踏まえ、検討していきます。

工業地 … 農地、自然景観等との調和

商業地 … 市街地の都市機能との連携、観光商業としての連携（景観と防火）

⇒ 海の魅力についてのご意見が、まさしく宮津の「特徴」と考えています。